

地方都市視察報告書

文教子ども家庭委員会

1 実施日 平成25年10月24日(木)

2 視察地 岡山県総社市

【市の概要】

(1)面積 212.00km²

(2)人口・世帯数(平成25年7月1日現在)

人口 67,746人

世帯数 25,210世帯

(3)岡山市、倉敷市の2大都市に隣接している。瀬戸内海特有の温暖、少雨の恵まれた気候のため、市街地を除く全域で農業がおこなわれている。

桃太郎伝説のモデルとされる吉備津彦命と鬼人・温羅の伝説や、画聖雪舟の生誕の地でもある。また、備中国分寺や大小多数の古墳など遺跡、史跡が非常に多い。

子育てに関して、産官学民からなる「子育て王国まちづくり実行委員会」を中心に、まち全体で協働による子育て支援を進めている。

3 視察項目・内容

子育て王国「そうじゃ」まちづくり事業(町全体での協働による子育て支援)

4 視察参加者

【委員】

阿部早苗委員長 野もとあきとし副委員長 桑原羊平委員

川村のりあき委員 佐原たけし委員 志田雄一郎委員

赤羽つや子委員 えのき秀隆委員

【随員】

議会事務局議事係 浜野智子 氏家あふゆ

5 視察結果・所感

子育て支援に積極的に取り組む各種団体により構成される「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会を中心に産官民による協働で「子育て王国そうじゃ」づくりに力をいれている。

「子ども条例」の制定、子ども議会・子ども会議の開催、「そうじゃ家族の日」普及活動、赤ちゃんの駅登録事業など幅広い事業を行っていることを担当課から説明を受け、その取り組みの様子をDVDを見た。

子ども条例第20条で市は子どもの視点や意見をまちづくりに反映させるための

意見表明の場として「そうじゃ子ども会議」を設置できることとしている。

平成23年に、「交通」「観光」「環境」について子どもたちが調査研究を行い、市への提言を行った子ども会議や、平成24年に震災被災地への行政視察を行った子どもたちが視察経験を基にした防災、被災地支援に関する質問等を行う子ども議会の報告書を拝見し、そのレベルの高さに驚いた。行政はこの事業に関して、子どもが意見を述べる場の設定や子どもたちの提言をどう実現していくかのサポートに徹している。今年は高校生会議も開催される予定もあり、この事業を通して総社市の子どもたちは市政に関心を持つ主権者としてすばらしい財産になると感じた。

6 主な質疑項目

- (1) 「そうじゃ家族の日」について
- (2) 子ども条例の周知について
- (3) 総社っ子プランのワンストップサービス体制について
- (4) 子ども議会・子ども会議について
- (5) 授乳とおむつ交換ができる公共施設について

7 その他

【共同視察者】 子ども家庭部子ども家庭課長 大野哲男

